

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ロブテックス
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,250	8.2	384	11.1	339	15.0	205	17.0
27年3月期第3四半期	3,929	△0.6	346	△7.2	295	△7.4	175	1.4

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 258百万円 (14.6%) 27年3月期第3四半期 225百万円 (7.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	21.85	—
27年3月期第3四半期	18.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年3月期第3四半期	7,088		3,349		45.1	
27年3月期	7,043		3,138		42.6	

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 3,194百万円 27年3月期 2,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,790	3.9	460	△20.6	390	△23.8	220	△28.3	23.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	10,000,000 株	27年3月期	10,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	592,770 株	27年3月期	591,190 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	9,407,566 株	27年3月期3Q	9,409,521 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府主導の経済政策等を背景として、企業収益や雇用環境の改善などが見られ、緩やかな景気回復の動きが持続しました。しかしながら、中国をはじめとする新興国経済の減速や原油価格の下落による影響が懸念され、先行きについては不透明感が強まってきております。

このような状況の下、当社グループは2015年度の経営スローガンを前年度に引き続き「昨日と違う今日を創るため 常識の壁を破り 感性で行動します」とし、時代や環境の変化に応じた大胆な発想力と行動力を追求し、真の実力を持った企業グループとなるべく活動してまいりました。また、2015年4月に各部門の役割・使命の明確化を更に進めるべく、組織変更を行い、顧客の要求する新商品開発の実現とそのスピードアップを図るため、社長直轄部門である社長室に商品戦略企画担当を配置すると共に商品企画部の新設などを実施し、新商品の開発・販売に注力してまいりました。

その結果、売上高は前年同期比8.2%増の42億5千万円（前年同期39億2千9百万円）となりました。利益面では、人件費や商品開発費用の増加はありましたものの、増収や経費管理の徹底効果により、営業利益で同11.1%増の3億8千4百万円（同3億4千6百万円）、経常利益で同15.0%増の3億3千9百万円（同2億9千5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益で同17.0%増の2億5百万円（同1億7千5百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ増加し、ハンドツール部門では、前期において拡販施策により売上が伸長した電設工具がその一巡により減少しましたものの、レンチ・万力類の増加や新商品の投入、新企画の工具セットが好評を得たことにより増加しました。ファスニング部門では、エアリベッター・コードレスリベッターの順調な販売に加え、工業用ファスナーも回復を見せました。しかしながら、切削工具部門については利益確保のために拡販施策を縮小したことにより若干の減少となりました。海外売上についても前年同期に比べ増加しており、東南アジア向けのファスニングツールの減少はありましたが、ハンドツール部門では韓国向けのレンチ類・圧着工具や台湾向けのプライヤ類、ファスニング部門では米州向けのファスニングツールにおける拡販施策が奏功しました。その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比8.5%増の40億7千8百万円（前年同期37億5千8百万円）となり、営業利益は同14.1%増の3億4百万円（同2億6千7百万円）となりました。

②レジャーその他事業

ゴルフ練習場におけるお客様一人当たり売上高の低下傾向は継続しておりますものの、入場者数については暖冬影響に加え、集客施策の効果もあって増加し、売上高は前年同期比0.4%増の1億7千2百万円（前年同期1億7千1百万円）となり、営業利益は同1.1%増の8千万円（同7千9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は70億8千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千5百万円増加しました。

(資産)

流動資産は前連結会計年度末比5千6百万円増の43億8千6百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が減少する一方で、現金及び預金やたな卸資産が増加したことによるものです。

固定資産は同1千万円減の27億2百万円となりました。これは主に時価評価に伴う投資有価証券の増加がありましたものの、減価償却による有形固定資産の減少があったことによるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比6千8百万円減の24億7千4百万円となりました。これは主に買掛金や未払法人税等が減少したことによるものです。

固定負債は同9千7百万円減の12億6千4百万円となりました。これは主に長期借入金及びリース債務の減少によるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比し2億1千1百万円増加し、33億4千9百万円となりました。これは主に配当支出による減少がありましたものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、平成27年5月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,513,441	1,683,102
受取手形及び売掛金	1,312,419	1,164,918
商品及び製品	953,735	959,071
仕掛品	224,031	228,286
原材料及び貯蔵品	171,642	202,579
その他	160,321	153,879
貸倒引当金	△5,584	△5,603
流動資産合計	4,330,007	4,386,233
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	816,641	782,416
土地	738,508	738,508
その他(純額)	569,696	540,422
有形固定資産合計	2,124,845	2,061,347
無形固定資産	44,959	38,138
投資その他の資産	543,411	602,986
固定資産合計	2,713,216	2,702,472
資産合計	7,043,223	7,088,705
負債の部		
流動負債		
買掛金	299,612	263,091
短期借入金	1,806,485	1,803,366
未払法人税等	40,833	16,996
その他	395,834	391,228
流動負債合計	2,542,764	2,474,682
固定負債		
長期借入金	1,099,999	1,003,794
役員退職慰労引当金	3,120	3,120
退職給付に係る負債	42,031	46,758
その他	217,090	210,940
固定負債合計	1,362,241	1,264,613
負債合計	3,905,006	3,739,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	1,556,216	1,714,730
自己株式	△149,074	△149,411
株主資本合計	2,858,188	3,016,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,726	177,769
その他の包括利益累計額合計	141,726	177,769
非支配株主持分	138,303	155,275
純資産合計	3,138,217	3,349,410
負債純資産合計	7,043,223	7,088,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	3,929,774	4,250,628
売上原価	2,518,546	2,778,305
売上総利益	1,411,227	1,472,323
販売費及び一般管理費	1,064,983	1,087,566
営業利益	346,244	384,756
営業外収益		
受取利息	150	148
受取配当金	7,519	9,252
受取家賃	6,034	6,461
その他	7,214	5,048
営業外収益合計	20,918	20,911
営業外費用		
支払利息	38,051	31,060
売上割引	33,693	33,652
その他	41	1,174
営業外費用合計	71,787	65,886
経常利益	295,375	339,781
特別損失		
固定資産除却損	204	466
特別損失合計	204	466
税金等調整前四半期純利益	295,171	339,314
法人税等	108,657	118,401
四半期純利益	186,514	220,912
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,822	15,354
親会社株主に帰属する四半期純利益	175,691	205,557

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	186,514	220,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,138	37,660
その他の包括利益合計	39,138	37,660
四半期包括利益	225,652	258,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,788	241,601
非支配株主に係る四半期包括利益	11,864	16,972

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,758,187	171,587	3,929,774	—	3,929,774	3,929,774
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,758,187	171,587	3,929,774	—	3,929,774	3,929,774
セグメント利益	267,135	79,108	346,244	—	346,244	346,244

(注)1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,078,400	172,228	4,250,628	—	4,250,628	4,250,628
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,078,400	172,228	4,250,628	—	4,250,628	4,250,628
セグメント利益	304,748	80,008	384,756	—	384,756	384,756

(注)1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。